

環境経営レポート



2023年度

対象期間（2023年4月～2024年3月）

神鋼鋼線工業株式会社

ロープ製造所（二色浜）

発行日：2024年5月30日



神鋼鋼線工業株式会社 ロープ製造所（二色浜）

環境経営方針

（基本理念）

当事業所は1918年、貝塚市にてワイヤロープの製造を開始して以来、常に業界をリードする代表的なワイヤロープ事業所としての地位を確立してきました。当事業所は、大阪の南部、貝塚市の産業団地内にあり、大阪湾に面し関西空港にも近く温暖な気候と豊かな自然環境に恵まれています。この自然を後世に残すことが、地域社会に根付く企業の責務と考えています。

「当事業所は地球環境を保全するため環境への配慮を積極的に推進していきます。」この方針のもと、ワイヤロープの製造のあらゆる活動面で、社員一丸となってE A 2 1に取り組みます。

（環境経営方針）

環境関連法令を順守し、製造所および地域の環境保全に努めるとともに、事業活動や提供する製品が、地球全体の環境にできる限り負荷を与えないよう取り組みます。

環境負荷の低減のため、行動指針を次のように定めます。

1. 環境関連法規制や当社が同意したその他の要求事項を順守することをコミットメントします。
2. 環境経営システムを確立し、環境目標を定めて定期的に見直しを行い、継続的改善に努めます。
3. 具体的な取り組みとして次のことを推進します。
 - ① カーボンニュートラルを目指し、二酸化炭素の排出量抑制として電力と都市ガスの削減に努めます。
 - ② 廃棄物排出量の削減のため、製造歩留の削減に努めます。
 - ③ 総排水量削減として工業用水の削減に努めます。
 - ④ 化学物質削減のため、適正な管理に努めます。
 - ⑤ 省資源となる長寿命・高強度ロープや環境にやさしいロープの開発に努めます。
 - ⑥ 工場の環境改善として、3S活動の実施ならびに騒音の防止に努めます。
4. 環境方針は製造所内に掲示し、製造所で働くまたは製造所のために働く全ての人に方針内容を周知するとともに外部へも公表します。

制定日 2008年10月1日

改訂日 2024年 4月1日

神鋼鋼線工業株式会社

常務執行役員ロープ製造所長 岡崎 達也

1. 事業所の概要

(1) 事業者名及び代表者名

神鋼鋼線工業株式会社 生産本部 ロープ製造所（二色浜）
常務執行役員 ロープ製造所長 岡崎 達也

(2) 所在地

大阪府貝塚市二色中町 1 1 - 1

(3) 環境保全関係の責任者

- ・環境統括責任者：常務執行役員 ロープ製造所長 岡崎 達也
- ・環境管理責任者：環境防災安全衛生室 室長 嶋田 政宏

(4) 事業活動

活動 : ワイヤロープ、亜鉛めっき鋼より線、鋼線の製造
製品 : ワイヤロープ、亜鉛めっき鋼より線、鋼線
サービス : ワイヤロープの適正使用に関する指導

(5) 事業の規模

製品出荷額 75.8 億円／年 (2022 年度実績 (2022 年 4 月～2023 年 3 月))
主要製品生産量 11,702 トン／年 (2022 年度実績 (2022 年 4 月～2024 年 3 月))
従業員 186 名 (2023 年 3 月現在)
工場延べ床面積 94,364 m²

2. 適用範囲

(1) 適用サイト： 神鋼鋼線工業株式会社 生産本部

- ・ロープ製造所（二色浜）：〒597-0093 大阪府貝塚市二色中町 1 1 - 1

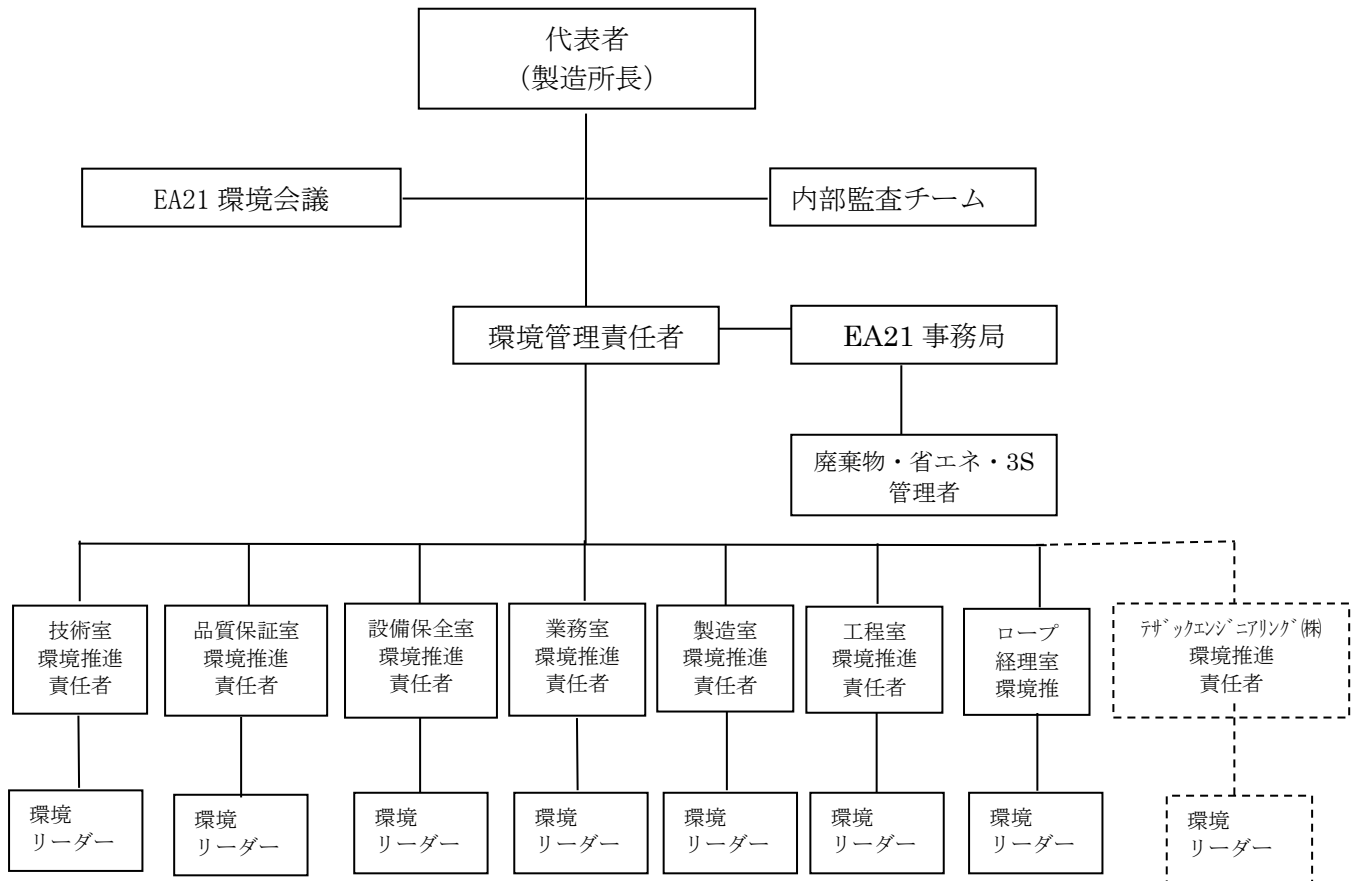
(2) 認証登録サイトの対象活動範囲

- ・活動 : ワイヤロープ、亜鉛めっき鋼より線、鋼線の製造
- ・製品 : ワイヤロープ、亜鉛めっき鋼より線、鋼線
- ・サービス : ワイヤロープの適正使用に関する指導

(3) 適用除外サイト

- ・(株)テザック：同一サイトにある本製造所は経営者が異なり、適用範囲外として扱う
- ・テザックエンジニアリング(株)：同一サイトにある子会社のために適用範囲外として扱う

3. 組織図



※ ----- 適応除外サイト

責任及び権限

1) 環境管理統括者（ローブ製造所長）

- ① E A 2 1 システムにもとづく環境経営に関する統括責任
- ② 環境経営マニュアルの承認
- ③ 環境経営システムの実施及び管理に必要な不可欠な資源(人的、専門的な技能、組織のインフラストラクチャー、技術並びに資金「E A 2 1 環境マネジメントシステム運用に必用な主な資源の一覧表」)の確保
- ④ 環境管理責任者の任命
- ⑤ 環境経営方針の制定
- ⑥ 環境目標の承認
- ⑦ 全体の評価と見直しの実施
- ⑧ 環境経営レポートの承認

2) 環境管理責任者

- ① 環境経営システムの確立、実施、維持
- ② 環境関連法規及びその他の要求事項一覧表兼遵守評価表の承認
- ③ 環境活動実施計画書の承認及び計画目標に対する3ヶ月ごとの実績評価
- ④ 年間教育・訓練計画書の承認
- ⑤ 環境活動の取組結果及び改善のための提案を代表者へ報告
- ⑥ マネジメントレビューのためのインプット条件を提供
- ⑦ 環境経営方針を全従業員に周知することを指示
- ⑧ 環境経営マニュアル及び環境経営レポートの起案

3) 環境推進責任者

- ① 自部門における環境経営システムの実施
- ② 自部門における環境経営方針の周知
- ③ 自部門の従業員に対する教育訓練の実施
- ④ 自部門の環境目標及び環境活動計画の実施及び達成状況を環境管理責任者へ報告
- ⑤ 自部門の特定された環境負荷項目等の手順書作成及び運用管理
- ⑥ 自部門の特定された緊急事態対応手順書の作成、訓練、記録、見直し
- ⑦ 自部門の問題点の発見、是正、予防処置

4) 環境推進リーダー

- ① 特定された項目の自部門における環境経営システムの実施
- ② 特定された項目の自部門における環境経営方針の周知
- ③ 特定された項目の自部門の従業員に対する教育訓練の実施
- ④ 特定された項目の手順書の作成及び運用管理
- ⑤ 特定された項目の自部門の問題点の発見、是正、予防処置

5) 事務局

- ① 環境会議の事務局
- ② 環境への負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施
- ③ 環境関連法規及びその他の要求事項一覧表兼遵守評価表の作成

- ④ 環境目標・環境活動実施計画書原案の作成
- ⑤ 環境活動実施計画の実績集計
- ⑥ 年間教育・訓練計画書の作成
- ⑦ 環境関連の外部コミュニケーションの窓口
- ⑧ 環境経営マニュアル及び環境経営レポートの作成
- ⑨ 手順書及び帳票類（様式）の作成

4. 環境目標とその実績

当工場における 2022 年度の実績を基にした、2023 年度の実績は次のとおりです。

年 度			2020年度		2021年度			2022年度			2023年度		
対象期間			2020. 4		2021. 4～2022. 3			2022. 4～2023. 3			2023. 4～2024. 3		
			～2021. 3										
項目			実績	目標	実績	達成率 および 評価※1	目標	実績	達成率 および 評価※1	目標	実績	達成率 および 評価※1	
ワイヤロープ等の生産量（t）			12,752	—	12,659	—	—	11,702	—	—	11,161	—	
二 課 酸 題 と 化 学 炭 素	総排出量 （t-CO2）		4,530	—	4,670	—	—	4,535	—	—	4,481	—	
	2020年度比の 削減率（%）		—	—	▲ 3.1	—	—	2.9	—	—	1.2	—	
	内 訳	電力量相当分 （t-CO2）※2	3,890	—	3,992	—	—	3,807	—	—	3,811	—	
		2020年度比の 削減率（%）	—	—	▲ 2.6	—	—	4.6	—	—	▲ 0.1	—	
		都市ガス相当分 （t-CO2）	498	—	536	—	—	596	—	—	545	—	
		2020年度比の 削減率（%）	—	—	▲ 7.7	—	—	▲ 11.2	—	—	8.7	—	
		その他相当分 （ガソリン、軽油等） （t-CO2）	142	—	142	—	—	132	—	—	125	—	
二 課 酸 化 炭 素 の 削 減 ※3	電 力 量	電力使用量 （kWh／年）	11,081,843	—	11,373,228	—	—	10,845,993	—	10,737,533	10,745,913	—	
		生産量比 （kWh／t）	869	860	898	95.8%	889	927	96.0%	918	963	95.3%	
			以下	以下			以下						
		前年度比の 削減率（%）	—	1.0 以上	▲ 3.4	—	1.0 以上	▲ 3.2	—	1.0 以上	▲ 3.9	—	
	実績評価	—	—	—	目標 未達成	—	—	目標 未達成	—	—	目標 未達成		
	都 市 ガ ス	都市ガス使用量 （m ³ ／年）	231,842	—	249,657	—	—	277,717	—	—	253,665	1,138	
		生産量比 （m ³ ／年）	18.2	18.0	19.7	91.3%	19.5	23.7	82.3%	23.5	22.7	103%	
			以下	以下			以下						
		前年度比の 削減率（%）	—	1.0 以上	▲ 8.5	—	1.0 以上	▲ 20.3	—	1.0 以上	4.23	—	
	実績評価	—	—	—	目標 未達成	—	—	目標 未達成	—	—	目標 達成		
水 の 削 減	工 業 用 水	1日平均使用量 （m ³ ／日）	111.0	111.0	93.0	119.3%	93.0	93.4	99.6%	93.4	111.5	83.8%	
			以下	以下			以下						
		前年度比の 削減率（%）	—	1.0 以上	16.2%	—	1.0 以上	▲ 0.4	—	1.0 以上	▲ 19.4	—	
実績評価	—	—	—	目標 達成	—	—	目標 未達成	—	—	目標 未達成			

年 度			2020年度	2021年度			2022年度			2023年度		
対象期間			2020. 4	2021. 4～2022. 3			2022. 4～2023. 3			2023. 4～2024. 3		
			～2021. 3									
項目			実績	目標	実績	達成率 および 評価※1	目標	実績	達成率 および 評価※1	目標	実績	達成率 および 評価※1
廃棄物の削減	製造歩留の向上	製造歩留率 (%)	94.1	94.2	94.2	100%	94.3	94.3	100%	94.4	94.3	100%
			以上	以上			以上			以上		
		前年度比の向上率 (%)	—	0.1以上	0.1	—	0.1以上	0.1	—	0.1以上	0.0	—
		実績評価	—	—	—	目標達成	—	—	目標達成	—	—	目標未達成
化学物質の削減	化学物質の適正管理	適正管理	—	適正管理	適正管理	100%	適正管理	適正管理	100%	適正管理	適正管理	100%
		実績評価	—	—		目標達成	—		目標達成	—		目標達成
職場環境の改善	3S活動	平均点前年度以上	61.0	61.0以上	60.7	99.5%	60.7以上	—	#VALUE!	60.7以上	60.7	100%
		実績評価	—	—		目標未達成	—		目標未達成	—		目標達成
	騒音	生産設備1台整備	0	1以上	1	100%	1以上	0	0%	1以上	4	400%
		実績評価	—	—		目標達成	—		目標未達成			目標達成
環境配慮	新製品の開発	環境にやさしい製品2件完成	—	2以上	2	100%	2以上	0	0%	2以上	2	100%
		実績評価	—	—	—	目標	—		目標	—		目標

追記： ※1. 達成率＝目標値÷実績値（％）（実績値が小さい方が良い場合）
目標値÷実績値（％）（実績値が大きい方が良い場合）
（目標達成＝100％以上）

※2. 電力量二酸化炭素排出係数＝2020年度関西電力㈱の調整後排出係数（0.351 kg-CO2/kWh）

※3. 2024年度までの中期計画については、P10に記載しています。

5. 2023年度目標に対する環境活動の取り組み内容

1) 二酸化炭素排出量の削減

(1) 電力使用量の削減 (管理責任者：エネルギー管理士)

削減目標： 購入電力量を2022年度より1%削減する。(生産量比)

達成手段： ①設備新設・改造時は省エネ化を検討する。
②不要時のパソコン、プリンター、コピー機のスイッチを切る。
③冷暖房器具(事務所棟以外)の管理
(設定温度の管理。スイッチはまめに切る。)

(2) 都市ガス使用量の削減 (管理責任者：エネルギー管理士)

削減目標： 購入都市ガス量を2022年度より1%削減する。(生産量比)。

達成手段： ①事務所棟の冷暖房器具(ガスヒーポン)の管理
(設定温度の管理。スイッチはまめに切る。)
②不要時はボイラーを停止する。
③乾燥炉の省エネ化を検討する。

2) 水の削減

(1) 洗線工程における工業用水の削減 (管理責任者：製造室長)

削減目標： 1日平均工業用水使用量を2022年度より増加しない。

達成手段： ①各槽において、給水の流量管理をする。

3) 廃棄物の削減

(1) 製造歩留の向上 (管理責任者：製造室長)

削減目標： 歩留率を2022年度より0.1%増加させる。

達成手段： ①撚り込率マスタを確認する。
②撚り込率の追加・見直しをする。
③ストランド余尺の見直しをする。
④工程内不具合の低減に努める。

4) 化学物質の削減 (管理責任者：環境防災事務局)

(1) 化学物質の適正管理

削減目標： 化学物質を適正に管理する。

達成手段： ①化学物質流出事故を想定した訓練を実施する。
②有害物質貯蔵施設を適正に管理する。(水濁法。定期点検)
③ジクロロメタンを適正に管理する。
(安衛法。作業環境測定および健康診断。)

5) 職場環境の改善 (管理責任者：業務室長)

(1) 3Sコンテスト(CRN)の平均点を前年度以上

達成手段： 3S活動を徹底する。週末クリーンデーの実施

(2) 各工場の騒音の低減 (管理責任者：製造室長)

達成手段： 騒音・振動の大きい設備を整備する。

6) 環境配慮製品の提供

- (1) 新製品の開発推進（製品の高強度化、長寿命化）（管理責任者：研究開発室長）
達成手段：環境にやさしい製品を2件以上完成する。

6. 環境活動の取り組み計画と評価

2023年4月～2024年3月の環境活動の評価は下記の通りです。

1) 二酸化炭素排出量の削減

(1) 電力使用量の削減

- ①天井照明を一部LED化した。
- ②不要時のパソコン、プリンター、コピー機のスイッチを切るようにした。
- ③冷暖房器具（事務所棟以外）の管理
（設定温度の管理。スイッチはまめに切るようにした。）

(2) 都市ガス使用量の削減

- ①事務所棟の冷暖房器具（ガスヒーポン）の管理
（設定温度の管理。スイッチはまめに切るようにした。）
- ②不要時はボイラーを停止するようにした。
- ③乾燥炉の省エネ化として、設定温度を下げた。（8～10月）



エアコンスイッチ附近（省エネ活動推進のポスター掲示）

2) 水の削減

- (1) 洗線工程における工業用水の削減（ボイラーの都市ガス使用量削減にもつながる）
①各槽において、給水の流量管理をするようにした。

3) 廃棄物の削減

(1) 製造歩留の向上

- ①撚り込率マスタを確認した。
- ②撚り込率の追加・見直しをした。
- ③ストランド余尺の見直しをした。
- ④工程内不具合の低減に努めた。

4) 化学物質の削減

(1) 化学物質の適正管理

- ①化学物質流出事故を想定した訓練を実施した。
- ②有害物質貯蔵施設を適正に管理した。(水濁法。定期点検の実施。)
- ③ジクロロメタンを適正に管理した。(安衛法。作業環境測定および健康診断の実施。)
- ④危険物保管量の見直し、消防への届出を行った。

5) 職場環境の改善

(1) 3 S コンテストの平均点を前年度以上

2022 年度は未実施だったが、2023 年度は実施した。
平均点は 2021 年度と同値だったが、ロープグリスの使用頻度が多い職場が 1 位になった。

(2) 撚線・伸線工場の騒音の低減

騒音の大きい撚線機 4 台を整備、2 台を撤去した。

6) 環境配慮製品の提供

(1) 環境にやさしいロープを 2 件上市した。

(ロープグリス低含有のエレベーターロープ、長寿命ロープ (ガントリークレーン用))

次年度以降 (2024 年 4 月～2027 年 3 月) の環境活動計画は下記の通りです。

No.	環境コア指標	取組み項目	2024年度目標	2025年度目標	2026年度目標
1	二酸化炭素排出量 (電力)	炭酸ガス排出量の削減 (電力使用量の削減)	2023年度比 電力使用量 1%削減 (生産量比)	前年度比 電力使用量 1%削減 (生産量比)	前年度比 電力使用量 1%削減 (生産量比)
2	二酸化炭素排出量 (都市ガス)	炭酸ガス排出量の削減 (都市ガスの使用量の削減)	2023年度比 都市ガス使用量 1%削減 (生産量比)	前年度比 都市ガス使用量 1%削減 (生産量比)	前年度比 都市ガス使用量 1%削減 (生産量比)
3	水の削減	水の削減 (工業用水の削減)	2023年度比 工業用水使用量 増加なし	前年度比 工業用水使用量 増加なし	前年度比 工業用水使用量 増加なし
4	廃棄物の削減	製造歩留0.1%/年向上	2023年度比 製造歩留0.1%/年向 上	2023年度比 製造歩留0.2%/年向 上	2023年度比 製造歩留0.3%/年向 上
5	化学物質の削減	化学物質を適正に管理する	化学物質の 適正管理	化学物質の 適正管理	化学物質の 適正管理
6	職場環境の改善	3Sコンテストの実施	平均得点 前年度以上	平均得点 前年度以上	平均得点 前年度以上
7	職場環境の改善	騒音の大きい設備を順次整備する。	生産設備1台整備	生産設備1台整備	生産設備1台整備
8	環境配慮製品の提供	省資源、環境にやさしい製品を 2件完成する	製品2件完成	製品2件完成	製品2件完成

7. 環境教育と啓蒙

○水質の環境負荷設備（排水処理装置等）の取扱い手順書の教育を実施した。（2024/2/16、22）

8. 環境関連法規制等の順守状況

1) 法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制	順守すべき要求事項	順守評価
下水道法	・届出施設：洗線・酸洗施設、スクラバー、排水処理装置 ・水質測定（年2回）	順守
水質汚濁防止法	・届出施設：洗線・酸洗施設、スクラバー、 ボンデタンク、廃酸ピット ・有害物質使用貯蔵施設の点検（年1回）	順守
騒音規制法	・届出施設：液圧プレス、ワイヤフォーミングマシン、空気圧縮機	順守
振動規制法	・届出施設：液圧プレス、ワイヤフォーミングマシン、空気圧縮機	順守

廃棄物処理法	・対象：強酸（有害）、廃油（有害）、感染性廃棄物 汚泥、廃油、廃プラスチック、木くず、廃アルカリ ・定期報告書：産業廃棄物管理票交付状況報告書、 特別産業廃棄物処理計画書および実施状況報告書	順守
公害防止組織法	・選任： 公害防止統括者、公害防止管理者	順守
P R T R 法	・対象物質：ジクロロメタン、鉛、亜鉛の水溶性化合物 ポリ(オキシエチレン)ニルフェニルエーテル ・定期報告書：第一種指定化学物質の排出量及び 移動量の届出書（PRTR 法） 第一種指定化学物質の排出量及び 移動量の届出書（大阪府条例）	順守
エネルギーの使用の 合理化に関する法律	・選任：エネルギー統括者、エネルギー管理推進者、 エネルギー管理士 ・実績報告書（大阪府条例）	順守
消防法（危険物）	・揮発油、軽油等の保管	順守
フロン排出抑制法	・空調機、冷凍機、ウォータークーラー ・定期点検（年4回）	順守

2) 法規制等の一覧表を作成し、定期的に遵守状況をチェックすることにより違反等の無いことを自主的に確認しました。尚、これらの法規制に対する関係当局からの違反の指摘、及び関連する訴訟等は過去3年間ありません。

9. マネジメントレビュー（代表者による全体の評価と見直し指示）の結果

（1）実施日

2024年4月1日

（2）目標・活動計画

- ・エネルギー削減について。

ガス使用量を削減により、CO2 を前年度 1 % 以上削減できたことは評価できる。来年度は、省エネ・環境防災会議を活用する等で工場全体で情報共有し、エア漏れ改善を中心に省エネ活動を充実させ目標を達成させる様にして下さい。

- ・3 か年計画は、新たに作成して下さい。

スタートから 16 年、経営システムは順調に動いている。このまま継続すること。

（3）システムの変更の有無

環境経営方針

☐変更する

☒変更しない

環境経営目標及び環境経営計画

☐変更する

☒変更しない

実施体制

☐変更する

☒変更しない

（4）最後に

御高覧ありがとうございました。

次回の環境活動レポートは、2025 年 5 月頃に作成予定です。